

特集2

2025年4月12日 関東支部会報告

飯塚 礼子（東京未来大学、千葉市科学館）

1. はじめに

2025年4月12日（土）慶應義塾高等学校（神奈川県日吉）にて関東支部会を行ったので報告をする。2024年度の2回目の関東支部会も対面方式で行った（前回は開成高等学校で開催させていただいた）。あえて会場にお集まりいただいた。対面での支部会は参加者の表情が垣間見え質疑も活発に行われた。

2. 開催内容

今回の支部会では、特別講演として太陽にスポットを当て、2名の方にお越しいただいた。一般発表は5件であった。

発表者からの寄稿もあるので、詳細な内容には、そちらをご覧頂きたい。

開催内容を以下に示す。

- ◆日 程 : 2025年4月12日（土）
13:00~17:30
- ◆開催場所：慶應高等学校 B棟の2階 会議室（神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1）
- ◆プログラム：
 - ・特別講演1
塩田和生「H α 太陽の魅力と、H α 太陽望遠鏡の最新動向」
 - ・特別講演2
山崎明宏「Sol'Exによる太陽観察」
 - ・一般発表
 - 【発表1】今西康平「アステリズム・ミーティング ～全国の民間天文活動の活性化と継承を目指して～」
 - 【発表2】石川勝也「金星コンテスト」
 - 【発表3】田中優作「視覚障害者と晴眼者が共に感動できる次世代型プラネタリ

ウム：宇宙のサウンドスケープ」

【発表4】松本直記「スマート望遠鏡活用ガイドブックの紹介」

【発表5】田部一志「IPS2026の進捗」

なお、参加者は38名であった。

3. 特別講演

特別講演として、最初にご登壇いただいた塩田和生氏は、太陽コロナの画像処理でも大変有名な方である。天文雑誌や著書においてもご存じの方は多いであろう。自宅にある天文台にて太陽観測を続けておられる。観測機材についても日々研究されている方であり、最近の太陽望遠鏡についてお話しいただいた。

引き続き特別講演として山崎明宏氏にご登壇いただいた。山崎氏も天文冊子にて太陽観測の機器も含め寄稿されている方である。分光器による機材（Sol'Ex）を使って、太陽の画像を得る方法と画像処理を紹介いただいた。

特別講演の両名からは、寄稿をいただいているので、詳細をぜひお読みいただきたい。

4. 一般発表

・発表1：「アステリズム・ミーティング ～全国の民間天文活動の活性化と継承を目指して～」

今西康平

アステリズム・ミーティングは、天文活動を活性化し次世代へ継承することを目的として企画・活動を行っている。活動方針や活動の予定、活動内容についてのご報告があった。

・発表 2 : 「金星コンテスト」

石川勝也

天文部の学年が異なる学生たちによる宵の
明星探しコンテストの様子をご披露いた
だいた。

・発表 3 : 「視覚障害者と晴眼者が共に感動で
きる次世代型プラネタリウム：宇宙のサウ
ンドスケープ」

田中優作

宇宙空間には音を伝える大気がないもの
の、もし宇宙からの音が聞こえたらとの
ことで、音が聞こえる次世代型プラネ
タリウムについてご披露いただいた。

・発表 4 : 「スマート望遠鏡活用ガイドブ
ックの紹介」

松本直記

スマート望遠鏡 Seestar による活
用のガイドブックをご披露されてい
る。その一部をご紹介いただいた。

・発表 5 : 「IPS2026 福岡へのお誘い」

田部一志

IPS2026 (国際プラネタリウム協
会 2026 年大会) が福岡で 2026 年
6 月 15 日～19 日 (5 日間) 開催
される旨のご紹介があり、参加につ
いてご案内があった。

6. おわりに

発表数が多くはなかった今回の支部会
であったが、予定時間を過ぎるほど質
疑応答も和やかに交わされた。支部
会開催準備の段階から、会場校の松
本直記氏には大変お世話になりお礼
と感謝の気持ちでいっぱいある。さ
らに、関東支部代議員をはじめ、運
営に携わった方に改めてお礼をもう
しあげる。

その後の有志による情報交換にお
いても活発な意見交換ができたと思
っている。

飯塚 礼子